

ユニバーサルデザイン舗装材

# TOYOユニバーサルペイブ

東洋工業(株)



擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他

## 特長・ポイント

近年、街の様々な場所でユニバーサルデザインが採用されてきました。東洋工業では、これまで蓄積されたデータや独自の技術を結集して“TOYOユニバーサルペイブ”を開発。人にやさしく、また環境にもやさしい“TOYOユニバーサルペイブ”でこれからの街づくりをご提案していきます。



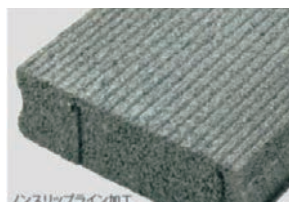
高松地方裁判所 丸亀支部 所在地:香川県丸亀市/ライトグレー、グレー、ダークグレー

透水機能  
(透水タイプのみ)



### 水たまりができてにくい

透水タイプを使用の場合、雨の日でも水たまりができてにくいので、快適な歩行・走行が可能です。地中にしみ込んだ水は貯留され、樹木の成長を促し、地下水としての再利用が可能になります。雨水を直接排水しないため、流出量抑制効果があり環境に役立ちます。



### 滑りにくい

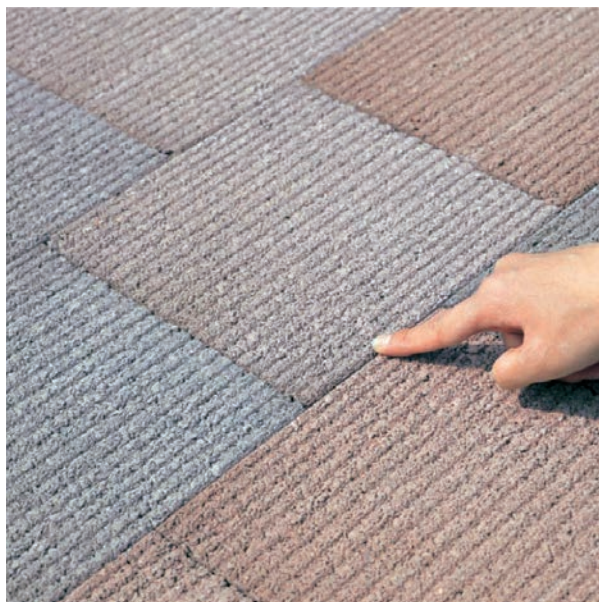
#### ノンスリップライン加工

ノンスリップライン加工を施してあります。雨の日の坂道やスロープなどスリップの危険がある場所でも滑りにくく、安心して歩行できます。



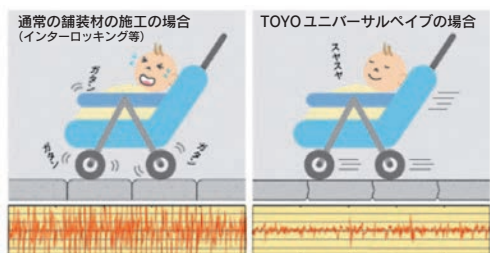


海老津駅 所在地：福岡県遠賀郡



### ■目地による振動・衝撃を軽減！

表面をライン加工すること、目地幅を小さくすることで、車いすやベビーカーで通行する時や、キャリーバッグで荷物を運ぶ時などにおこる、不快な振動・衝撃をやわらげました。目地幅が小さいため、視覚障がい者の方や子ども、ハイヒールを履いた女性の歩行にも優しい舗装材です。

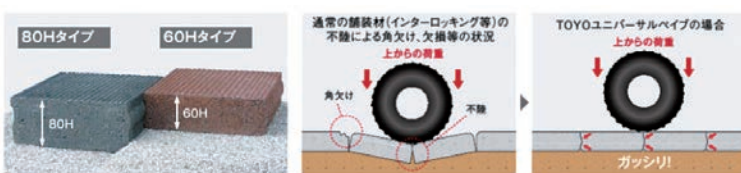


通常の舗装材の施工の場合 (インターロッキング等) 振動波形 (100×200サイズ)

TOYOユニバーサルペイブの場合 振動波形 (透水タイプ)

### ■不陸・段差の発生を抑制！

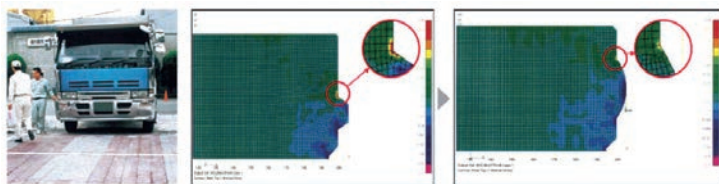
側面を凹凸形状にし、凹凸部を噛み合わせて施工することにより不陸・段差の発生を抑制し、平坦な舗装面を維持。歩行にも最適です。前後左右のブロックの連結を保つためにレンガ敷き施工を行います。



80Hを使用する車両乗り入れ部と、60Hを使用する歩道部を噛み合わせて連結施工しても表面レベルが変わりません。

### ■噛み合わせ部分の強度検討(解析モデル)

当社試験フィールド内での過酷な車両乗り入れ試験 (11トンダンプ (実測値22,080kg) 1,000回走行) において、改良前の噛み合わせ凹凸形状では、その凸部が割れ、不陸が起こり製品の割れ・欠けが発生することが確認されました。そこで噛み合わせ部分の凸部を円弧状に改良することで、車両が乗り入れた時、凸部に集中する応力を分散することができ、不陸や製品の割れ・欠けが発生しにくくなりました。

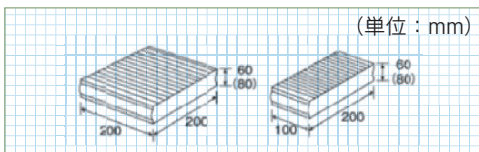


11トンダンプによる 1,000回走行試験

タイプ1 (改良前)

タイプ2 (改良後)

## 規格寸法図・試験データ



- 側面片だけに目地キープがあります。
- 寸法表記は目地キープ込みのモジュール寸法となっております。

## 受注生産品

### ■試験データ

	寸法許容差 (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	滑り抵抗 (BPN)	透水係数
透水タイプ	縦・横・厚さ ± 2.0 以内	3.0 以上	40 以上	1 × 10 <sup>-4</sup> m/s 以上
不透水タイプ		5.0 以上		—